

2026年3月19日作成

第1版

2022年1月6日～2026年3月31日の間に庄原赤十字病院に誤嚥性肺炎治療で入院された方へ

—「急性期エネルギー摂取量と退院時嚥下機能低下との関連:入院前に経口摂取が自立していた誤嚥性肺炎患者を対象とした後方視的コホート研究」に関する研究へのご協力をお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について庄原赤十字病院倫理委員会の承認を受け、庄原赤十字病院長の許可を受けて実施するものです。

研究責任者 庄原赤十字病院 医療技術部 栄養課 管理栄養士 重政 光彰

共同研究者:庄原赤十字病院 医局 第一内科部長 服部 宜裕

庄原赤十字病院 医療技術部 作業療法技術課 言語聴覚士 矢富 嘉昭

県立広島大学 地域創生学部 地域創生学科

健康科学コース 名誉教授 栢下 淳

研究指導者 県立広島大学 地域創生学部 地域創生学科

健康科学コース 教授 谷本 昌太

1. 研究の背景と目的 誤嚥性肺炎(食べ物や唾液が誤って肺に入り起こる肺炎)で入院される高齢の患者さんは、治療中に嚥下機能(飲み込む力)が低下してしまうことがあります。本研究では、入院直後の5日間に摂取したエネルギーやたんぱく質の量が、退院時の嚥下機能にどのような影響を与えるかを調査します。この結果を明らかにすることで、将来の患者さんにより適切な栄養管理を提供することを目指しています。

## 2. 研究の対象と方法

1. 研究対象となる方: 2022年1月6日～2026年3月31日の間に庄原赤十字病院に誤嚥性肺炎(疑い含む)の治療目的で入院された患者さん。
2. 研究期間: 倫理委員会承認日 ～ 2029年3月31日
3. 研究方法: 過去の電子カルテの記録を振り返って、入院初期の摂取エネルギー量が、入院前と退院時の食事形態にどのような影響を及ぼしたかを調査します(後方視的調査)。
4. 使用する情報: 電子カルテに記録されている以下の情報のみを使用します。
  - 基本データ: 年齢、性別、身長、体重、血液検査結果(CRP等)、併存疾患
  - 肺炎の状態: 肺炎の重症度、胸部画像検査の結果
  - 栄養の状況: 入院中(3日目～7日目)の食事量、点滴・経管栄養の内容、お食事の形態
  - 嚥下機能: 入院前、入院3日目、退院時の嚥下評価(FOIS: 食事の形態や食べ方のレベル)
  - その他: リハビリテーションの実施状況、体重減少率 等

※本研究で収集したデータを、外部の機関へ提供することはありません。

## 3. 情報の保存と管理

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文の発表から5年間、庄原赤十字病院栄養課内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、紙などのその他の資料は施錠可能な保管庫に厳重に保存します。

## 4. 資金と利益相反

この研究において、特定の企業等からの資金の受け入れはなく、利害関係(利益相反)はありません。

## 5. お問い合わせ先および研究参加の拒否(オプトアウト)について

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の患者さんの個人情報保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ます。また、ご自身のカルテ情報がこの研究に用いられることについて、患者さんもしくは代理人の方にご了承いただけない場合は、研究対象から除外いたしますので、2027年3月31日までに下記の連絡先までお申し出ください。お申し出いただいた場合でも、患者さんに不利益が生じること(日常の診療で不当な扱いを受けること等)は一切ありません。ご連絡をいただかなかった場合は、ご了承いただいたものとさせていただきます。研究の成果は、お名前などの個人情報が全くわからないようにした上で、学会発表や学術雑誌等で公表します。

(問い合わせ・連絡先)

庄原赤十字病院 栄養課 管理栄養士 氏名 重政 光彰

TEL 0824-72-3111 FAX 0824-72-3285

E-mail: eiyoka@shobara.jrc.or.jp